

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

様式1

No. 0901019

政策目標	1 はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 平成23年度～平成25年度 ・全体事業費 15,750千円×3年＝47,250千円 ・交配延頭数 2,250回×3年＝6,750回 雄武町農業生産拡大緊急対策事業補助金交付要綱
基本施策	1 農業の振興	事業優先度	A	
単位施策	3 生産技術の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	農業生産拡大緊急対策事業	見直し年度		
事業期間	平成23年度～平成24年度	担当課	9 産業振興課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	未経産牛の交配頭数		#N/A	
事業目標	1,500頭	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	1 ⇒	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	本町の酪農家が安定的な営農活動を図るため、雌雄判別精子の交配による優良雌牛を生産し、生乳生産量の拡大による酪農業の生産基盤の確立を目指す。				未経産牛への雌雄判別精子の交配 延べ 2,250回 事業費 2,250回×7千円＝15,750千円	未経産牛への雌雄判別精子の交配 延べ 2,250回 事業費 2,250回×7千円＝15,750千円	
	事業費(千円)	31,500	0	0	15,750	15,750	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	31,500				15,750	15,750	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	14,294			4,954	9,340	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	14,294				4,954	9,340	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】				未経産牛への雌雄判別精子の交配 528頭	未経産牛への雌雄判別精子の交配 1,071頭	
		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果 C-継続/拡充	
	第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値				未経産牛への交配 1,500頭	対象牛への交配 1,500頭
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	31%	59%
	全体達成率	0%	0%	0%	16%	45%	
	事業進捗状況				☆☆	☆☆☆	

事業名	農業生産拡大緊急対策事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	石井弘道
		評価者 作成者 職氏名	農務係主査	宇野敏志

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	酪農家	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	雌雄判別精液交配実頭数	
【抱える課題やニーズは】	農業資材等の高騰により後継牛の安定更新に支障をきたし、生乳生産量が低下するなど農業経営に悪影響を及ぼしている。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	優良雌牛の安定的な更新及び確保	① 雌雄判別精液交配実頭数	目標年度	平成24年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生乳生産量の確保及び増大		目標値	1,500頭
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	雌雄判別精液代金の一部補助	雌雄判別精液代金を使用して対象牛に交配した酪農家に対して、代金の一部を補助した。	実績値	1071頭
			達成度	71.4%
			②	年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	酪農経営の安定化を図るために必要な事業である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効	設定した目標値の達成状況	酪農家からの要望により対象をホルスタイン全牛に拡大したところであるが、搾乳農家の減少や酪農業全体を取り巻く状況もあり、使用数が伸び悩んでいる。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	飼養者に対し飼養管理の徹底等を行うことにより受胎率の向上を図ることにより受精回数を削減し、コスト削減を進める。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

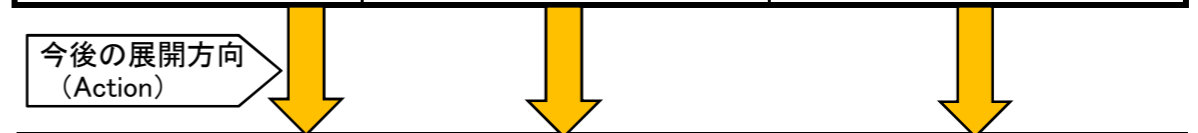
公平	判断の理由	補助を行うにあたり、自己負担と補助上限を定めており、公平であると考えている。
公平/概ね公平	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
対象をホルスタイン全牛に拡大したところであるが、搾乳農家の減少や市場動向により目標を下回った。		



今後の展開方向(Action)		
継続/現状維持		
酪農家に事業周知を徹底し、目標回数の達成を図る。		

※展開方向の区分
 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 ○終了 ○休止 ○廃止